

虹

IMSグループ広報誌 プラザイムス
「プラザイムス」は、患者さま、ご家族の皆さまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。

鶴川サナトリウム病院

【季刊 広報誌】

Vol.37

2021/新年号

本年も
宜しく願い
いたします



新しい時代に
よせて

- ・ 新年のご挨拶
- ・ ナースタイムズ「ご家族と共に歩む病棟」

- ・ つるびと「地域医療連携室」
- ・ 知っておきたい医療制度・続けられる健康体操
- ・ 季節のお料理ほか



IMS(イムス)グループ 医療法人財団 明理会

鶴川サナトリウム病院

ご自由にお持ちください



新年のご挨拶



世界を席卷したスペイン風邪以来 100 年を経て、コロナ禍の中での年明けとなりました。地球温暖化によるウイルスの逆襲なのかもしれません。これまで人類は感染症との戦いを続け、現在を築いてきました。我々の英知を結集し対応することにより、切り開けるものと思っています。医療は立ち止まることはできません。皆様のご協力を得て、本年も最善を尽くしていきたいと思っております。

お陰様で認知症疾患医療センターとして、昨年度は読売新聞の調査にて新規認知症患者来院数が、東京都において民間病院で第 1 位となり、全国では総合第 17 位と報じられました。南多摩医療圏において行政・医師会の協力もあり、順調にセンター活動の中心を歩ませていただいております。

認知症の電話相談・早期診断対応に向けた認知症初期集中支援チームの派遣・地域包括支援センターにおける医師のもの忘れ相談・臨床心理士による介護者等相談、市の委託事業として多職種による認知症ライフサポート研修を実施しています。さらに近隣大学とも共催して家族介護者支援会をすすめています。

当院内における認知症カフェ（ご家族と地域の方々のつながりの場）を開くとともに、住民の方々に向けて定期的に認知症や老人医療に関する公開講座を開催させていただいております。また当院では当初より、患者様に最良の栄養療法を提供するための栄養サポートチーム専門療法士による栄養管理に重点を置いてまいりました。日本臨床栄養代謝学会教育認定施設の指定を受け、すでに 800 名以上の実地研修修了者を全国に輩出しています。

超高齢化社会の到来とともに、人口減少、少子化、認知症高齢者の増加、生活環境の変化などに対して医療も適切な変容を遂げなければなりません。我が国では老衰が死亡率の第 3 位となり、治す医療から維持し支える医療への変換が進み、慢性期医療への役割の増幅に改めて責任を感じている所です。

医療・介護・福祉機関と密接な連携を保ち、求められる医療を如何に提供するかということを念頭に、医療の質の担保を常に考慮し、皆様の期待に応えるべく歩いていく所存です。本年もよろしく願いいたします。

鶴川サナトリウム病院 院長



「森林」をイメージし、明るく開放的な空間に



廊下は弾力のある床材を使用し、患者さまの足腰の負担を軽減しています



2020年12月

南棟・中央棟の リニューアルを行いました

～ 患者さまの生活の場をより過ごしやすく、より快適に ～



木目を基調としたモダンスタイルで落ち着いた雰囲気仕上げました

2019年のIFロビーリニューアルに続き、南棟・中央棟の病棟改修を行いました。改修中は患者さまやご家族さまに大変ご不便をお掛け致しましたが、ようやく全ての工事が完了致しました。今後も患者さまに快適にお過ごしいただけるよう、順次改修をしていく予定です。





ご家族と 共に歩む病棟

障害者施設等一般病棟

どんな病棟？

障害者施設等一般病棟とは何らかの疾患などで肢体不自由や意識障害となられた方、神経難病の方を中心に、継続した治療を行なう病棟です。当院では急性期で治療を終えたあと、病状は安定しているものの、医療依存度が高い方や継続的な治療が必要な方の長期入院を受け入れています。病棟では、医師、看護師、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、精神保健福祉士、臨床心理士、歯科衛生士など、多職種のスタッフが連携し、リハビリテーションやレクリエーションなどの提供を行うことで、身体・認知機能・日常生活動作の維持と生活の質の向上を図っています。

変化の共有が 看護のヒント

当病棟は、重度の障害を抱えた方が多い病棟ですので、中には十年以上の長期に渡り

入院されている方もいらっしゃいます。看護師は長く担当するからこそ見えてくる些細な変化に早期に気づくことができるようになり、コミュニケーション手段が限られる患者さまであっても、普段から観察力を高めることで、通じ合うことも多くあります。ご自身でできることが見つかった場合などは、その情報を多職種で共有し、そこから新しいアイデアが生まれ、その方にとってのよりよいケアの構築に生かされています。

ご家族の「声」を大切にしたい

長期での入院は、同時にご家族とのお付き合いの長さでもあります。面会に来られた時は、充分にお話をうかがい、少しでも安心していただけるよう努めています。同時に、ご家族の愛情や言葉が、私たちの学びに結び付いてゆく大切な時間でもあります。

病院という場所はどうしても「問題」ばかりに目が行きがちですが、私たちは患者さまとご家族の要望をお聞きした上で、患者さまが保持している力に目を向けることを大切にしています。症状を安定させることはもちろんですが、患者さまの「これだったらできる」をご家族と共に応援できる病棟でありたいと思っています。



障害者施設等一般病棟 師長 (N7)

桑野千種

急性期・回復期リハビリテーション病院などを経て、9年前より当院。ケアマネジャーの資格を持ち、医療知識と介護的専門知識の両面から患者さまを支えている。

病院と地域の医療福祉を「結ぶ」 地域医療連携室

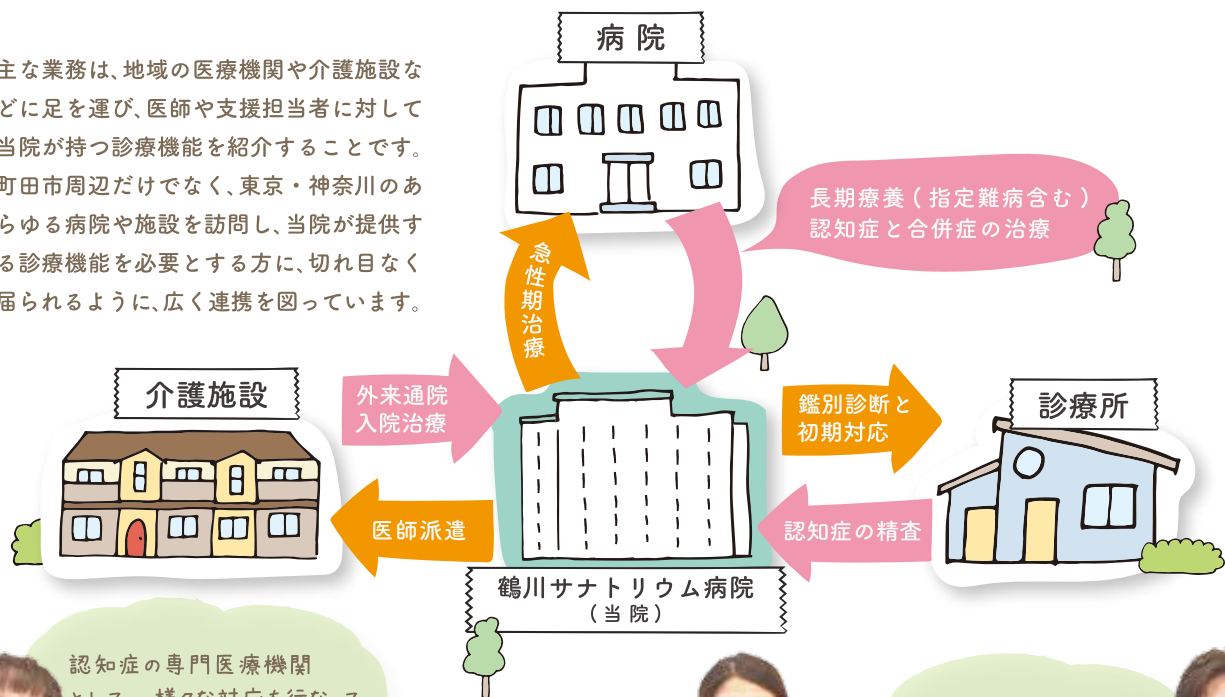
実は
入退院窓口
にいます



その名のとおり地域での医療連携を担う部署です。当院では、患者さま個々の入院調整や退院支援は医療相談室が担当していますが、医療機関や介護施設などの連携関係構築は、地域医療連携室が担っています。普段は患者さまと接する機会は少ないですが、地域のみなさまがスムーズに必要な医療に繋がるための連携体制をつくるうえで重要な役割を担っています。

当院の診療機能を余すことなく利用してもらうために

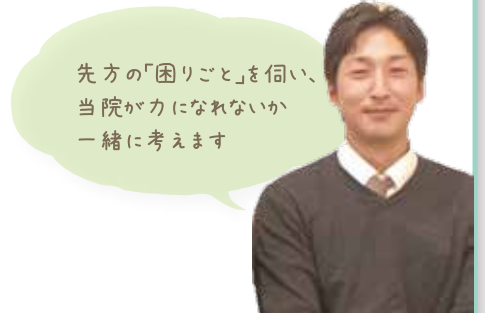
主な業務は、地域の医療機関や介護施設などに足を運び、医師や支援担当者に対して当院が持つ診療機能を紹介することです。町田市周辺だけでなく、東京・神奈川のあらゆる病院や施設を訪問し、当院が提供する診療機能を必要とする方に、切れ目なく届られるように、広く連携を図っています。



認知症の専門医療機関として、様々な対応を行なっていることを広く周知しています



院内に外からの声を届けるパイプ役にもなっています



先方の「困りごと」を伺い、当院が力になれないか一緒に考えます



連携して地域に還元していく

地域の医療機関をまわってお話を聞いていると、様々な困りごとを相談されます。単独では解決できないようなことでも連携を図ることで解決に繋がることもあります。また、そういった困りごとを持ち帰って院内で提案し、新たな取り組みに繋がられることもあります。そのような取り組みが、間接的に患者さまの利益に繋がられる「架け橋」のような存在でありたいと思っています。



教えて!かどまつ係長 知っておきたい 医療制度

自立支援医療制度(精神通院医療)

この制度は、精神科の通院医療への経済的負担を軽減する公費負担医療制度です。心に負った障がいやメンタルケアには多くの時間を要し、長期の通院は経済的に大きな負担となります。この制度の利用により経済的な負担を減らし、治療に集中できるメリットがあります。

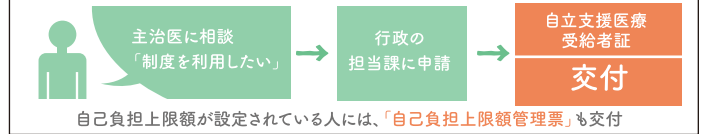
何らかの精神疾患により通院治療を続ける必要がある方が対象となり、器質性精神障害の一種である認知症も含まれます。

この制度を利用すると、通常3割負担の医療費が1割に軽減されるほか、世帯所得によってはひと月当たりの負担額に上限が設けられる場合があります。また、比較的重度の疾患の場合、「重度かつ継続」という区分が適用され、もともと上限額の設定がない「中間所得」以上の所得区分に該当する場合でも、右表のような手厚い保障が受けられます。認知症は「重度かつ継続」という区分の対象疾患でもありますので、「認知症」で申請が認められれば大きな助けとなるでしょう。

【自己負担額】

区分	月額負担上限	重度かつ継続
生活保護	0円	0円
低所得1・2	2,500~5,000円 ※本人所得による	2,500~5,000円 ※本人所得による
中間所得1・2	高額療養費制度の限度額	5,000~10,000円 ※市民税納税額による
一定所得以上	上限設定の対象外	20,000円

【手続きの流れ】



【注意点】

受給者証の有効期限は原則1年で、毎年更新が必要になります。利用されている医療機関が「指定自立支援医療機関」かどうか、確認が必要です。入院医療、保険外診療の費用は対象外です。



医療制度は、さまざまな種類があるだけでなく、社会の状況や情勢に合わせて変更になったり、複雑で理解が難しいこともあると思います。それでもご自身やご家族が関連する制度に関しては、「知る」ことで生活が変化することもあると考えれば、理解は深めておきたいですね。分からないからとそのまましておかず、困ったときはかかりつけの医療機関や行政などに相談してみましょう。我々も「分かりやすく」情報をお伝えしているよう今後も努力していきたいと思っています。

どこでも簡単
指のストレッチ

続けられる 健康体操

～指先の冷え対策編～

1 指のストレッチ 左右(親指~小指1本ずつ)×1セット

- ① 手のひらを机において、息を吸います
- ② 息を吐きながら、指をゆっくり持ち上げます
- ③ 息を吸いながら、指をゆっくり戻します

5秒ずつ

呼吸を止めないよう意識しましょう



注意

体調が悪いときや、身体に痛みを感じたときはすぐに中止してください。高血圧の方、運動を止められている方は、医師の指示に従って行うようにしてください。

2 手首のストレッチ 左右×2セット

- ① 腕を伸ばし、手のひらを前に向け、写真のように、もう片方の手で掴みます
- ② 息を吐きながら、指先を身体の方に曲げていきます
- ③ 息を吸いながら、ゆっくり戻していきます

5秒ずつ

肘をしっかり伸ばそう

5秒ずつ

- ④ 同じく、腕をのばし、指先を下に曲げて、もう片方の手で写真のようにして掴みます
- ⑤ 息を吐きながら、指先を身体の方に曲げていきます
- ⑥ 息を吸いながら、ゆっくり戻していきます

血行促進効果で指先をぽかぽかに!

tsurusana information file



鶴川サナトリウム病院では、公開講座を定期的に行っていますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を見合わせております。今後の開催予定につきましては、ホームページ等でご確認ください。ご不明な点は広報企画室(042-737-1257)まで。

取り組み紹介

アクティブ福祉in町田で優秀賞を受賞



市内の医療・介護・福祉に関わる専門職種による日頃の実践の成果や取り組みを共有するアクティブ福祉in町田において、当院の通所、訪問リハビリテーションを担当する理学療法士と作業療法士が「99歳の「また歩きたい」をかなえる為のチームアプローチ～高齢者に多くみられる脊柱管狭窄症に対する在宅生活の支援～」の発表を行い、在宅部門優秀賞を受賞しました。

認知症ライフサポート研修をオンラインで開催



「認知症ライフサポート研修」は医療介護の専門職・支援者同士が、職種や立場の枠を超えて「認知症の人の生活支援」という共通の視点を持ち、連携して地域づくりを推進することを目指すための学びの場として、年1回開催しています。今年もオンラインでのライブ配信形式で行われ、日本認知症ケア学会 前理事長である本間昭先生の講演とパネルディスカッションに、地域で活躍する50名の専門職・支援者が参加しました。

認知症
介護者家族
向け

認知症cafe 参加無料/定員5名

やわらかカフェ

2月5日(金) / 3月5日(金)

感染拡大の影響により、今回の開催は中止となりました。次回の開催予定は、ホームページまたは外來のご案内をご覧ください。

1月29日(金)

※年間を通して開催しています。正しい知識を身に付け、専門職に相談できる機会です。詳細は外來のご案内をご覧ください。

お知らせ

「オンライン」面会ははじめます

Zoomを使用したオンライン面会を開始いたしました。利用枠は限られておりますが、順次対応枠を増やしていく予定です。当院HP「病院からのお知らせ」またはQRコードからご予約ください。※ご利用にはスマートフォン及びWEBカメラ付パソコン、インターネットに接続できる環境が必要です。



鶴川栄養科 季節のお料理

体ぽかぽか生姜ジャム

ざいりょう

しょうが 200g (2かけ程度)
はちみつ 200g
砂糖 50g
レモン汁 大さじ1

つくりかた

1. ジャムを入れる容器を消毒する
2. 生姜を水できれいに洗う
3. ペーパータオルを湿らせ、生姜を包み、電子レンジで1分蒸す
4. 粗熱が取れたら繊維を断ち切るように皮ごと生姜をすりおろす
5. すりおろした生姜、はちみつ、砂糖、レモン汁を鍋に入れ、焦がさないよう、混ぜながら温める(最初は中火・沸騰後弱火に)

point 

生姜の温め効果は、皮と身の間につまっているので、皮は剥かずに！蒸してからすりおろすことで、温め効果が更に増し、辛味も抑えられます。

お料理にも!



寒い朝の一杯に。
(お湯割り・ホットミルク・紅茶などと一緒にどうぞ)
～保存の目安～
冷蔵で約2週間ですが、取り分けるスプーンは清潔なものを使用してください

感染予防のために、できることを続けよう



当院では内視鏡専門医師による苦痛の少ない

内視鏡検査を行っています

安心のサポート



- ・ 認知症に対し、経験豊富なスタッフが対応
- ・ 精神科受診（物忘れ外来）へのきっかけづくり
- ・ 患者さまへの負担が少ない経鼻内視鏡

内視鏡検査は完全予約制です

町田市成人健康診査・がん検診（婦人科除く）も受付中

内視鏡
外来
担当医

火曜午後			金曜午前午後	
鈴木 良洋	加藤 陽	松田 功	片桐 正人	浅野 純平

※平日診療時間 午前 9:00 ~ 11:30 午後 13:30 ~ 15:30

ご予約

042-735-2222

平日 9:00-17:00
土曜 9:00-12:00

